

放送日 平成28年9月1日(木)

担当者 企画財政部都市計画課 主査 相馬 正人

おはようございます。都市計画課、開発調整担当の相馬です。

本日は市制施行20周年の記念の日です。先人の功績に尊敬と感謝の意を表しましょう。また、防災の日です。災害への備えは大丈夫ですか？

さて、私が担当する業務の中から、宅地造成等規制法の概要について話をします。

この法律は、昭和36年に制定されました。宅地造成に伴う崖崩れや土砂の流出による災害を未然に防止するため、「宅地造成工事規制区域」を指定し、その区域内で行われる宅地造成に関する工事について必要な規制を行うことにより、市民の生命及び財産の保護を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的としています。

北広島市では、昭和40年9月1日に最初の区域指定が行われ、その後、昭和48年6月12日に区域拡大が行われ、現在では、約10,135haが規制区域に指定されています。

「宅地」とは、一般的にいわれる建築物の敷地だけではなく、農地、採草放牧地及び森林並びに道路、公園、河川等の公共施設の用地を除いた土地すべてをいいます。

したがって、建築物を伴わない駐車場、テニスコート、墓地、資材置場等も宅地に含まれます。

おわりに「天災は忘れた頃にやってくる」という防災に関する文章などによく用いられる寺田寅彦の有名な警句があります。「災害」だから「忘れた頃にやってくる」のではなく、「忘れた頃にやってくる」から「災害」になるのです。日ごろから災害に対する備えを怠らないようにしましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月2日（金）

担当者 企画財政部都市計画課 主査 川口 芳幸

おはようございます。都市計画課、緑・都市景観担当の川口です。

昨日、一昨日と市街地整備計画事業、道路計画事業、開発行為事業のお話がありました。都市計画と言うと皆さんは何を連想するのでしょうか？

家やお店を建てられる場所なのか、建てられない場所なのかを決める、単純にそう考える方が意外と多いかもしれません。

都市計画とは、都市の将来あるべき姿を想定し、そのために用途などの必要な規制を地域ごとに行い、都市を適正に発展させようとする方法や手段のことを言います。

その中のひとつに、私が担当する都市景観というものがあります。

私たちが生活している環境は、「見る」ことによって評価され、「見える環境」の良さが、生活空間の快適さにつながっていると言えます。

その「見える環境」こそが「景観」ということになります。広告看板や建物の色彩など、場合によっては景観を損ねることになることから、北広島市においても、都市景観形成基本計画を策定しております。

今の時代は、「ものの豊かさ」だけでなく、「こころの充実」を感じるような、ゆとりやうるおいなどの精神的な快適さや豊かさに視点を置いた、美しいまちにしていくことが大切であると言えます。

先人から受け継いだ「素敵なまちを未来へ伝える」が、この計画の中での、理想の実現に向けた景観形成のテーマとなっておりますので、皆さんも「素敵なまちを未来に伝える」を忘れないでいただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月5日（月）

担当者 総務部総務課（選挙管理委員会事務局）主査 加藤 丈博

おはようございます。務部総務課及び選挙管理委員会事務局併任書記の加藤です。

私は、公用車の管理と選挙を担当しています。

今年は、4月24日に衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙のほか、7月10日の参議院議員通常選挙が執行されました。

全国においては、選挙がある度に、事務処理の誤りなどが報道されておりますが、本市においては、多くの皆様のご協力のおかげで、何事もなく選挙を終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年の参議院選挙では、選挙年齢が18歳以上に引き下げられて初めて行われた国政選挙となり、全国で約240万人、本市では約1,200の方が、新たに選挙人となりました。

全国的に投票率が低下しているなか、特に若い世代の投票率が低くなっています。参議院選挙の結果では、本市の投票率は60.14%と60%を超え、石狩管内では、高い投票率となりましたが、若い世代の投票率は約39%と低い状況であり、今後の投票率の向上が課題となっています。

本年度は、今のところ選挙は予定されておりませんが、今後も国政選挙のほか地方選挙がありますので、職員の皆様のご協力を得ながら、適正な選挙事務の執行に努めていきたいと考えております。また、皆さんも貴重な1票を無駄にすることなく、是非、ご家族の皆様で期日前投票・当日投票に行きましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月6日(火)
担当者 総務部総務課 主査 杉山 正一

おはようございます。総務課総務・庁舎管理担当主査の杉山正一です。

総務・庁舎管理担当では、議会に関すること、儀式、褒章及び表彰に関する
こと、市役所庁舎の管理に関すること、他の所管に属さないことを担当しています。

今年は、平成8年9月1日の市制施行から20年の節目を迎え、3日には市制
施行20周年記念式典を開催いたしました。式典の開催にあたり、多くの職員
のご協力をいただきましたことに改めてお礼を申し上げます。

20周年記念事業では、これまで、レバンガ北海道の選手によるNHKテレビ
スポーツ教室や日本相撲協会少年相撲教室、戦場カメラマンの渡部陽一さんによ
る平和講演などを実施しました。

また、市制施行を始め祝いの日や記念日など「特別な日」のために使われた数々
の郷土資料を展示する企画展「祝いと記念の品品」を知新の駅で開催しているほ
か、10日には小学生を対象にラグビー、バレーボール、ホッケー、ハンドボー
ルの4種目を体験するボールゲームフェスタを、10月1日、2日にはNHKの
ど自慢を開催します。

これらの事業は、多くの方々にご協力をいただいて初めて実施できるものです。
私の担当業務は、職員の皆さんがスムーズに仕事をしていただけるよう、事前の
準備や調整をいかに行うか、が重要であると考えていますが、現時点では、皆さ
んから助言をいただいて、いろいろなことに気付いているという状況にあります
ので、今後、少しでも改善できるよう努力していきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月7日(水)
担当者 総務部総務課 主査 本宮 昌宣

おはようございます。総務課法制担当主査の本宮昌宣です。本日は、私が担当している業務についてご説明いたします。

法制担当では、条例、規則等の法規文書の審査、不服申立てや訴訟の総合調整に関すること、そのほか顧問弁護士、例規集に関することなどを担当しています。このうち業務の大半を占めているのは、条例、規則等の法規文書の審査になります。特に条例は、市民の代表である議員により構成される議会の議決を経て、地方公共団体が制定できる「法」であり、地方自治法規の中では、最も重要な法形式ですので、条例の制定や改正に当たっては、内容面においては、担当課の政策の意図が条文中に反映されているか、他の条例とのバランスを欠いていないか、形式面においては、正確な表現、分かりやすい表現になっているかなどその他様々な角度から審査をした上で最終案を議会の議案として提出します。地道で時間のかかる作業ですが、私自身、最終案が完成したときは達成感があり、とてもやりがいを感じています。

この法規文書を審査する上で、とても重要なことがあります。それは、法規文書の原案を作成する担当課の方針です。条例をはじめとした法規文書は、担当課だけでも、あるいは法制担当だけでも作れるものではないと思います。担当課と法制担当が車の両輪となり、力を合わせて作るものだと思っていますので、各担当課のみなさん、これからもよろしく願いいたします。

最後に私達公務員の仕事は、常に法令に基づいて行っています。苦手意識を持って避けようとしても公務員である以上法令からは避けて通ることはできないと思います。何か仕事をする際には、是非例規集を活用してその仕事の根拠を確認の上、業務に当たっていただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月8日(木)
担当者 総務部職員課 主査 木下 信司

おはようございます。職員課主査の木下です。

去年の4月から1年5か月、職員の研修を担当して感じたことを二つお話します。

一つ目は、「接遇マナー」についてです。

笑顔であいさつすることは本当に大切です。人の印象は、顔を合わせた瞬間に決まるといわれています。市役所のお客様に笑顔で接すること。それが市民の皆様からの信頼を獲得することにつながります。

お客様と会話をするときには、相手に分かりやすい言葉遣いを心がけましょう。難しい専門用語に注意をして、簡単な言葉で説明する能力が必要だと思います。

市役所のイメージは、たった一人の職員の対応が悪くだけでも、一気に印象が悪くなってしまいます。来庁者にとっては、対応した職員の印象が全てです。「一期一会」の気持ちで接することが大事だと感じました。

二つ目は、「成功と失敗」についてです。

北広島市職員人材育成基本方針では、求められる職員像を「市民への貢献を最優先し、強い使命感を持ち、課題にチャレンジする職員」としています。

ある研修の中で講師の先生が「成功の反対は失敗ではない。成功の反対は何もしないことだ」と教えていました。また「決して失敗しない人は、決してチャレンジしない人だ」とも言っていました。

失敗をおそれずに新たな課題にチャレンジする職員が増えてくれば、北広島市はさらに豊かな都市に躍進できるのではないかと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月9日（金）
担当者 総務部職員課 主査 佐藤 直人

おはようございます。職員課主査の佐藤です。

職員課では、職員に関する様々な業務を行っていますが、今日は、職員の採用活動を通じて感じたこととお話したいと思います。

ここ数年、民間企業の採用者数が増加傾向にあることなどから、公務員志望者が減少しています。また、公務員の中でも、国、都道府県、政令市、市町村がそれぞれ優秀な人材を奪い合う状況となっています。そのため、本市では、大学や民間企業が主催する合同企業説明会へ積極的に参加することや、本市独自の採用説明会の開催、ホームページやフェイスブックあるいは民間企業が運営する就職活動支援サイトなど様々な媒体を活用し、多種多様な人材を確保するための取組を行っています。

実際に採用活動を行う中で、本市を志望する学生からは、この素晴らしい北広島市をもっと多くの人に知ってもらいたい、市職員となって困っている方の手助けをしたい、たくさんの企業を誘致し雇用を増やしたいなど、本市に対する熱い思いを感じ取ることができます。自分の将来の夢に向かって懸命に努力している姿を目の当たりにし、純粋な気持ちと力強いエネルギーを与えてもらっていると感じる反面、社会人となって20数年の月日を経た今の私は、果たして彼らに対して堂々とこれまでの自分を語れるのだろうか、自問自答しています。

職員課の業務は、毎日が刺激的であり、日々忙しさの荒波に流されてしまいがちですが、今後一緒に仕事をする事となるかもしれない彼らに負けないよう、情熱を持って業務に励んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月12日（月）

担当者 総務部行政管理課 主査 高橋 正弘

市民のみなさま、職員のみなさま、おはようございます。行政管理課主査、高橋です。

行政管理課では、情報の管理と文書の管理を行っており、市民の方には、あまり接することのない課ではありますが、主に個人情報保護と情報公開の事務があります。

個人情報保護につきましては、市が持っている個人の情報について、利用の制限を図ったり、適正な管理を行っているかを管理、指導し、個人の権利利益などを保護しております。また、情報公開制度につきましては、市民が知りたい情報を自由に入手し、利用できるようになるとともに、市民と行政機関との情報の共有化が一層推進され、市民が行政の実情について広く知ることができる制度です。ただし、個人のプライバシーに関する情報は、最大限に保護されています。個人の情報について、不安な点がございましたら、お問い合わせください。

職員の方には、個人情報の適切な利用と管理に努めていただいておりますが、今年の最大の目標はファイリングシステムを成功させることにあります。ファイリングシステムとは、文書を組織で共有し、文書の発生から廃棄までの仕組みを確立し、誰でもすぐに利用することができる管理方式です。来年5月には新庁舎への移動が予定されています。新庁舎への移転作業を円滑にし、誰もが働きやすさを感じる事務環境を作るため、文書管理の現状の問題点を早期に解決し、事務環境の改善と事務効率の向上を図り、職員一人一人が同じ意識のもとで作業を進めることが何よりも重要となります。【全員参加】を合言葉に積極的にお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月13日（火）
担当者 総務部行政管理課 主査 寺岡 純

おはようございます。行政管理課主査の寺岡です。

私の担当は、各種システムに関わる対応と、セキュリティ対策が主なものですが、このうち本日は、セキュリティについて簡単にお話ししようと思います。

セキュリティという言葉から、ウイルス対策を指すものという印象を持つ方も多いですが、仕事上のセキュリティとはそうではなく、3つの条件を満たすことと言われています。1つ目は、許可された人のみが必要な情報を扱えること。2つ目は、扱う情報が正確であること。最後は、必要とする時にその情報を確実に取り出せることです。この3つを満たすために、システム上ではウイルス対策だけでなく、各職員への適切な権限の割り当て、確実なデータ連携の運用、各種データのバックアップなどを実施しています。

しかし、システム上の対策だけでは、セキュリティの3つの条件を確実に満たすことは困難です。セキュリティは2つの車輪を持つ荷車に例えられますが、その車の片方がシステムなどの対策とすると、もう一方は実際に仕事を行う人間の意識と言われています。どんなに良い対策が施されていても、それを使う職員の意識が低いと、セキュリティという荷車は前に進まなくなってしまうのです。

セキュリティに問題があると、市民サービスの低下のほか、重大な被害にもつながります。行政管理課では、庁内掲示板へのセキュリティニュース掲載による注意喚起や、各種セキュリティ研修の実施、個別相談への対応など、職員のセキュリティ意識を高める各種方策を用意しています。是非積極的に活用し、職員一人一人の取り組みにより、市全体の高いセキュリティが維持されるよう、ご協力をお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月14日(水)
担当者 総務部秘書課 主査 福田 誠

おはようございます。秘書課主査の福田です。

今日は私の担当している秘書課の業務について、お話をさせていただきます。

秘書課の主な業務といたしましては、理事者の日程調整、公用車の運行管理、室内清掃、各種情報・資料の収集などを行っております。このほか、姉妹都市交流事業としまして、毎年春に広島赤十字原爆病院や施設などへ、北海道の旬の味覚である「グリーンアスパラ」を送付する事業なども秘書課が担当しております。

私が担当する業務の中で、私自身、特に重要と考えているのが、日程調整であります。文書やメール、電話や来庁によって、市長・副市長に対する表敬訪問や各種行事、会議などへの参加依頼が数多くあります。また、内部からは、打ち合わせや報告、決裁などの日程調整なども多くあります。

日程調整の業務は簡単に思えますが、会議や打ち合わせなどの開始・終了時間の確認、移動時間の調査や調整、緊急度合いなど、様々な内容を把握する必要があります。そのため、繰り返しの確認とスタッフ間での情報共有がとても重要であると考えております。調整ミスによって、色々な方からの信用を失ってしまったり、ご迷惑となったりすることもありますので、慎重に業務を行うように心がけております。

また、秘書課には、様々なお客様が数多く来庁されますので、通常業務のほか、接客態度や言葉遣い、身だしなみなど、あらゆる面にも注意するように心がけております。

担当になって5か月経過しましたが、まだまだ改善すべき点が多く、日々反省している状況ではありますが、今後も努力して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月16日(金)
担当者 総務部税務課 主査 澤井 大輔

おはようございます。税務課資産税土地担当主査の澤井です。

固定資産税は、ご存知のこととは思いますが、土地、家屋及び償却資産を課税客体とする市税のひとつで、平成27年度現年度課税分で、固定資産税約32億2千万円、都市計画税約5億5千万円の課税を行っており、特別会計を除く市税の約50%を占める市の財政を支える重要な基幹税目のひとつです。

税務課資産税土地担当は、この固定資産のうちの土地に係る賦課業務を行っており、私のお他スタッフ3名と非常勤職員1名の計5名で日常的な業務を行っております。

私が、業務を行ううえで、重要としていることは、納税者の方々にとって、資産の保有が直接納税に結びつくものであるだけに、適正な運用や間違いのない課税を行うことはもちろんのこと、納税者の方々に対して固定資産税についての理解を深めていただくことが大切であることから、難解な評価の仕組みや課税の仕組みについて図や資料を使いわかりやすい説明や広報に努めるなど、納税者視点に立ったしっかりとした説明責任を果たすことに努めていることです。また、適正な運用には、スタッフ同士で業務をカバーしあう体制づくりが必要と考えています。しているだろうなどの思い込みで業務を進めるのではなく、しているかどうかの声かけを行うなど、信頼したうえでの日ごろのお互いの声かけやコミュニケーションづくりが重要であり、それらのことが職場の活性化にもつながると考えています。

仕事をする上ではあたりまえのことかもしれませんが、ひとつひとつ積み上げることがより信頼される市役所につながると考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月20日(火)
担当者 総務部税務課 主査 但馬 広宣

おはようございます。税務課固定資産税家屋担当主査の但馬です。

固定資産税は、土地と家屋、償却資産に係る市税で、市税収入の内約4割ほどを占めており、北広島市をより住みやすいまちにするための重要な財源の一つとなっています。

私はそのうち家屋と償却資産の担当をしています。主な業務の一つとして、新築家屋に対し、課税するための家屋評価業務があります。評価をするために、実際に所有者の方の同意を得て図面等をお借りしたうえで、新築家屋の中に立ち入り、各部屋や設備、室内の仕上げなどを確認させていただいております。家屋の購入は決して安い買い物ではなく、購入を決めるまでに様々なことを考え、人生においてとても大きな決断をして購入した方が多いと思います。実際に現地調査にお伺いしても大切な財産に対する強い思いが伝わってきます。ですから、現地調査では慎重かつ丁寧に行うよう心掛けています。

また、現地調査は所有者の方と直接お話しができる数少ない機会ですので、固定資産税の税率、軽減の制度やその他関連する不動産取得税などの土地家屋に係る税金についての説明を毎年作成しているパンフレット等を使い、わかりやすく丁寧に説明し、税に対する理解をしていただき、納得して納税していただけるよう努めています。

そして、固定資産税の家屋は、新築されて最初に課税してから取り壊されるまでの間、基本的には毎年課税させていただくこととなりますので、最初の調査や評価がとても重要で、評価に対する説明責任をしっかりと果たせなければならぬと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月21日(木)
担当者 総務部税務課 主査 永坂 隆之

おはようございます。税務課市民税担当主査の永坂です。

市民の生活に深く関わりのある「税金」の基本的な体系は、戦後の税制改革で作られました。市町村における税金は市民税と固定資産税を中心とした体系に整理されており、平成27年度北広島市の決算では一般会計の歳入合計238億8千4百万円のうち、市税は75億8千9百万円で31.8%を占め、そのうち市民税は31億8千2百万で41.9%を占めています。

市民税は8割近くを占める個人市民税と法人市民税で構成され、社会情勢等を踏まえた税制改正により変更されてきました。個人市民税は所得税と同様、収入に対して課税される身近な税金であり、福祉行政においては課税状況で助成の判定が行われることから、日々多くのお問い合わせを受けています。

市にとって重要な「税金」は市のサービスを支える根幹となりますが、好意的にとらえる市民ばかりではありません。このことを念頭に、私たちが買い物に行ったときに店員に商品について質問し、知りたい内容の説明を受けて、商品を購入する時と同じように、お問い合わせ時には挨拶で出迎え、市民の状況を想像しながら目的を確認し、丁寧に制度の説明を行い、納得して帰っていただくよう心がけています。

社会保障関連の支出の増加や電算の進歩により、年金から税や保険料が天引きされる特別徴収による納付が増えるなど、制度が複雑化しています。話しやすい雰囲気を作り、気軽にお問い合わせいただけるよう、市役所の印象に大きく影響を与える職場としての自覚を持って対応していきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月23日（金）
担当者 総務部防災・庁舎建設課 主査 中田 貴文

おはようございます。防災・庁舎建設課の中田です。

私は、課の業務のうち、防災と防衛に関する仕事を担当しており、今日は、その中で防災に関するお話をしたいと思います。

東日本大震災や熊本地震などの大規模な地震や先月、道内に大きな被害をもたらしたような台風や豪雨による水害・土砂災害は本市においても発生するおそれがあります。

そのため、防災・庁舎建設課では、災害の発生に備え、防災センターなどの防災拠点に毛布、ストーブ、食料といった備蓄品を整備したり、避難所運営ゲーム（HUG）や水防訓練の実施による職員のスキルアップを図っています。

また、町内会などの自主防災組織への支援や出前講座などにより防災意識の向上を促しているところです。

実際に災害が発生したときには、市職員だけでなく、市民や事業者、関係団体などと協力し、一体となって対応していく必要がありますが、その中でも、災害発生初期段階においては、市がリーダーシップをとらなければならない場面が多いと考えています。

そのため、職員一人ひとりが災害に対して常に危機意識を持ち、不測の事態が発生した場合には、いち早く行動することが求められています。

災害の発生が予測されるときや実際に発生したときに自分が何をすべきなのかをきちんと把握し、的確かつ迅速に行動できるよう常日頃から準備をしておくようお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月26日(月)
担当者 総務部税務課 主査 宮下 照太郎

おはようございます。税務課収納管理担当主査の宮下照太郎です。

私からは、担当している仕事の内容と市職員として心がけていることについてお話をさせていただきます。

税務課管理担当は、市民の皆様に取りめていただいた市にとって大切な税金について、確実にシステムへのデータ反映をするとともに、口座振替やコンビニエンスストアでの納付についての集計・管理業務を行っております。また、来年度より「市債権の一元化」管理として、保育料金などの滞納分を市税とともに納税、納税のための相談体制を拡充するための準備を行っております。平成32年には、市に関する債権のほとんどを、一元化して管理し、市債権の収納率向上を目指すとともに、市民サービスの向上、業務の効率化ができるよう検討を進めております。

次に北広島市の職員として私が心がけていることですが、北広島市のことを好きでいることです。北広島市の職員として、サービスを提供し誇りをもって仕事するうえで大切なことであると考えているからです。職場は細分化されていますが、すべては北広島市、北広島市民に向いていることをイメージしながら、与えられた職務に当たるようにしています。また、北広島市の変化について常にアンテナをはるようこころがけています。「何々町に何か新しいものができたんだって」と、考えるだけで北広島市の地図が頭の中に浮かぶようななるとよいかもしれませんし、市民や市外の方に北広島市を説明するときの材料になるかもしれません。職員一人ひとりが、「まちのセールスマン」として市民の皆様に対応できるようにしたいものです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月27日(火)

担当者 総務部防災・庁舎建設課 主査 高橋 孝一

おはようございます。防災庁舎建設課再任用主査の高橋です。

私は、昭和52年に当時の広島町役場に採用されましたので、今年で公務員生活40年目を迎えております。

この間、人口増加に対応するため、インフラ整備に追われた昭和の時代、バブル崩壊後、まちの近代化に取り組んだ平成の時代を経て、大変貴重な経験をさせていただきました。

そんな経験を踏まえ、「今思うこと、感じていること」について、お話をさせていただきます。

私たちの仕事は、「住みよいまちづくり」を進めることだと思っております。

しかしながら、人それぞれの人生観、価値観の違いなどにより市民ニーズは多種多様であり、「住みよいまち」の定義も様々であります。

ただ言えることは、「このまちが好き、いつまでも住み続けたい」そう思っている人たちが大勢いるまち、そんなまちを目指すことだと思っております。

「まちづくりは人づくり」とも言われておりますが、私たちの仕事も同じだと考えております。

どんなに優秀な職員であっても、仕事はひとりではできません。

「良い仕事は、良いチームワークから生まれる」

仕事は、多くの人たちの力の結晶であります。

是非、「仕事は楽しく・ポジティブに」そんな気持ちをもって、多くの成功体験を重ねていただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月28日(水)

担当者 総務部防災・庁舎建設課 主査 伊達 千秋

おはようございます。防災・庁舎建設課主査の伊達です。

私が担当しております新庁舎建設事業は、平成25年度から設計を開始し、昨年の春に中央会館の解体工事を行い、秋から新庁舎の建設工事に取り掛かっております。

現在は、外壁や外窓の取り付け作業を行っております。また、内部では各種配管の取り付けや間仕切り壁を作っております。

新庁舎建設工事は、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、地中熱ヒートポンプ設備工事に分かれて契約しており、各工事内容の連絡や、さまざまな協議を行うため、毎週、設計事務所も交え全員で工事の打合せ会議を行い、市民に親しまれ、来庁者が利用しやすく、分かりやすい庁舎となる様に、知恵を出し合い、協力しながら工事を進めています。

私も監督員として、新庁舎は市民の財産であるとのことから、安全で耐久性の高いものをつくり、何十年と使い続けられる様に、工事中の施工状況の確認や、各種検査の立ち会いなどを行って、工事の完成を目指しています。また、来年のゴールデンウィーク明けの開庁を目指した新庁舎への移転計画では、ご協力のおかげで庁舎内の現況調査を行うことが出来ました。今後も詳細な配置を決定する上で、職員の皆様の協力が必要となります。

新庁舎建設事業は、平成30年まで旧庁舎の解体工事や駐車場の整備などが予定されております。

職員並びに来庁者の皆様には、ご迷惑とご不便をお掛け致しますが、引き続きご協力下さいます様、どうぞよろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月29日(木)
担当者 総務部税務課 主査 波多野 拓也

おはようございます。総務部税務課納税担当主査の波多野です。

北広島市は、福祉、教育、防災など多岐に渡る行政サービスを提供していますが、これらが安定的に提供されるためには、税収が確保されることが必要不可欠です。

税の賦課徴収にあたっては、2つの基本理念があります。

一つ目は、法に基づき賦課徴収を行う「租税法律主義」です。

地方税法により徴税吏員は、督促状を発して10日を過ぎると差押えを行わなければならないこと、病気や災害等により納税が困難な方に対しては納税の猶予を行うこと、差押えをすることが出来る財産がない場合には滞納処分の停止を行うことが規定されています。

これらの規定に基づき、納期限までに納められなかった市税、いわゆる滞納金について、滞納整理を行っております。

二つ目は、担税力の公平な負担を分配する「公平負担の原則」です。

大多数の納税者の方は、憲法第30条に定める納税の義務に基づき、納期内納付をしていただいております。その一方で、地方税法の定めに反し、滞納を放置することは、大多数の納期内納税者の方々への信頼を損ねることになります。

私たち納税スタッフ9名は、この2大理念のもと、ものを言わぬ全ての納期内納税者の方々に対して胸を張れるよう、一丸となって職務に取り組み、これからの北広島市を作っていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年9月30日（金）
担当者 総務部付 主査 工藤 秀之

おはようございます。総務部付主査の工藤です。

今日は、私が今年の4月から派遣されています道央廃棄物処理組合についてお話しさせていただきます。

道央廃棄物処理組合は、北広島市のほか、千歳市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町がごみの焼却施設の設置、管理及び運営を共同で行うため設立された一部事務組合です。

組合では、新たにごみの焼却施設を建設します。

この施設の概算の建設費は、北広島市役所新庁舎の2倍以上となる127億円、維持管理費は25年間で112億円であり、施設建設費については、防衛省の補助金を活用することで協議をすすめているところです。

施設の建設候補地は、千歳東ICから道東自動車道沿いに西へ約4.5km、千歳市北部の根志越地区で、事業スケジュールは、来年度基本設計を行い、30年度に土地の買収、その後、実施設計、建設工事となり、8年後の平成36年度の施設稼働を予定しております。

組合でホームページを作成しておりますので、一度ご覧いただければ幸いです。

さて、今日で9月も終わり、今年度の折り返し地点を迎えました。私の上半期は、今までと違う環境やルール等に戸惑いもありましたが、組合職員や組合を構成する市や町の廃棄物担当部署の職員皆様のご指導やご協力等に支えられ、業務を遂行してこられた半年間でした。そして下半期、今年度の業務目標を達成できるよう気合いを入れ直し、千歳の美々で頑張っていきます。

皆さんもこの半年を振り返り、気持ちをリフレッシュする、今日をそんな日にしてみたいはいかがでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。